

Kumenan



Press

久米南町立久米南中学校
校長室だより

No.37 2018.11.07

見えなから見えたもの

人権教育講演会：竹内昌彦先生「私の歩んだ道」



10月30日（火）、元岡山盲学校教頭でNPO法人ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦先生をお迎えして、講演会が行われました。決して平坦ではなかった「歩んだ道」のお話、そして人が生きる上で本当に大切なこと…。竹内先生のお話には生徒は深く感動し、自分の生き方を改めて考えることができたようです。感想の一部（抜粋）を紹介します。

教えていただいた誘導方法で、体育館出口まで生徒がご案内しました。

「自分が不自由なく暮らせているのは、誰かがそれを背負ってくれているからだ」という言葉が一番心に残りました。今の自分を成長させるためには、誰かを助けたり、嫌なことでも一生懸命取り組むことが良いことだと思いました。毎日が苦しくても、自分の周りにはたくさんの人たちがいて、支え合って過ごしていきたいです。人間として賢く、優しい人になりたいです。（3年）

心に残ったのは、「優しい人は、優しい家庭から生まれる」というところです。だから、もし将来家庭を持ったら、優しい心を持った人になってもらうために、優しい家庭をつくっていかないといけないなあと思いました。私を産んでくれた母にしっかり感謝をしながら、命を大切にしていきたいです。（1年）

竹内先生から学んだことは、「命を大切にする」「家族を大切にする」「嫌だからといって逃げない」「勉強をしっかりとやる」ということです。今日学んだことを、「行動する」ことにうつせるようにしていきたいと思いました。（2年）

一番心に残った言葉は「今ある当たり前に感謝する」という言葉です。毎日普通に学校に行ったり、友達と遊んだり、家族と出かけたり…。たくさんの普通が、どれだけ恵まれていて幸せか。ついつい忘れてしまっているこの幸せ。学校で「〇〇が嫌だ」とか「〇〇が面倒だ」とか、そんなことは悩む価値もないほどちっぽけなこと、それに対して嘆いていた自分が恥ずかしいと思いました。竹内先生が言われた「どんな嫌なことでも、全力でやれば幸せの扉がみえてくる」。この言葉は、これからの人生の中のどこでも当てはまることなのかなと思いました。（3年）

僕は、今日の授業で学んだことがあります。それは、「誰でも人を大切にすることです。僕はときどき友だちに「死ぬ」など、軽く言うてしまうことがあります。でも僕は気付きました。今日の授業で、人の大切さを竹内さんにあらためて教えてもらいました。僕は今日の授業で学んだことを、これからの人生にいかして生きていきたいと思いません。（2年）

★★★★★ A cheerful greeting with a smile is connected to peace. ★★★★★

※ 自ら学び考える心豊かで活力ある生徒の育成 ※ 笑顔と意欲にあふれ活力ある学校づくり ※